

学校だより 5月号

学校教育目標

★「未来を拓く」東荷小教育
ふるさとに誇りをもち、
たくましく生き抜く東荷っ子
の育成

校 報

つか
東 荷

(何事も誠実に親切に)

平成29年(2017年) 5月1日現在

1年… 3名 2年… 4名

3年… 1名 4年… 3名

5年… 0名 6年… 6名

児童数 合計17名 (13家庭)

○発行：光市立 東荷小学校

○文責：[校長] 黒杭 譲

★情報があれば、お知らせ下さい！

地域とともにある学校

校長 黒杭 譲

4月10日(月)始業式の日。登校する子どもたちの横に「見守り隊」の皆さんの姿を見かけました。教頭先生から毎日の光景だと聞きました。

また、見守り隊の方にお話を伺うと「もう、続けて何年になるかねえ。」「毎日の日課です。健康づくりにも役立っています。」とのこと。先日の雨の日も、子どもたちの歩くスピードに合わせて、子どもたちに寄り添って歩いておられました。その寄り添う姿から、子どもたちを、学校を、見守ろうという思いを強く感じました。

16日(日)に開催された「つかり探訪ウォーク」。本校児童や保護者の皆さんをはじめ多くの参加者のもとで、盛大に行われました。好天のウォーキング日和で、自分自身、気持ちのよい汗をかくことができました。伊藤公資料館をスタートし、山口県に一つしかないゼロ交点(地図上で経線と緯線が交わる交点「北緯34度0分0秒、東経132度0分0秒」)をめざしました。子どもたちと大人と一緒に歩く様子は、まさしく地域ぐるみの遠足のようなようでした。学校のカだけでは実現できない取組に感激。そして、ゼロ交点の存在に感激。子どもたちと大人との交流の場となった企画に感激した一日でした。東荷のパワースポット「ゼロ交点」は、「ふるさとを愛する心」を育む魅力ある教材だと思いました。

20日(木)から、屋根より高く、そして勢いよく「こいのぼり」が運動場で泳いでいます。これらは、寿クラブの皆さんが取り付けてくださいました。風にあおられて元気よく泳ぐ「こい」を見ていると、元気が湧いてきます。子どもたちのため、学校のために汗を流してくださる方々がたくさんおられることに、感謝の思いでいっぱいです。

これらの出来事から、自分が知らないところで、見えないところで、学校のために力を尽くして下さっている方々が、このほかにも、多くいらっしゃるのではないかと思います。

地域の皆様におかれましては、子どもたちため、学校のために、いつもお力添えをいただき、ありがとうございます。

今後とも、よろしく願いいたします。